

むらのだより

令和8年度
第1号

校長挨拶

『地域から学び、地域とつながり、地域に貢献』

新たな仲間を迎え、生徒数百名で開校十二年めを迎えました。子どもたちが安全安心な学校生活を送ることができるよう、日ごろから温かく見守っていただく地域の皆さまのご理解とご協力のお陰です。あらためて感謝申し上げます。喫茶コミュニティ『天の川カフェ』にご来店されるお客様から「着実に接客がうまくなっているよ」というお褒めの言葉をいただいています。地域の皆さまと直接触れ合いながら自ら成長を実感できる機会をいただくことで、子どもたちは「地域社会において貢献したい」という意欲をさらに高めることができます。今後、皆さまとのつながりを大切にしながら、子どもたち一人ひとりの学びと成長を支えていきたいと考えています。

その他にも、学校で学んだ内容を基に企業や福祉施設等での実習、地元金融機関から依頼を受けたクリーニングの校外集配、Syukuu56での委託販売など実社会と結びついたリアルな体験を通じ、地域からの信頼をさらに高め、働くことの意義や社会とのつながりを実感する貴重な機会となっています。

このように、「地域とつながる」むらの高等支援学校の強みや魅力をいかに広く発信するかが課題のひとつです。五月下旬には中学校・中学部の教員対象に、本校の特色や魅力について説明する「むらのセミナー」を開催しました。

また、七月下旬に開催するオープンスクールでは三日間で約四百人のお申込みをいただいております。本校の教育内容だけでなく、生徒が生き生きと活動する様子を知っていただくため、準備を進めているところですが、これから引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

三年生近況

三年生の四月早々にむらの高等支援学校ではじめての体育祭が行われました。新クラスでは、参加競技やリレーの走者順を友だちと相談しながら決めました。当日はリレーや玉入れなどの種目にも一生懸命に取り組み、どの競技にも全力で声援を送りました。最後の得点発表では得点板に注目し、大きな拍手と歓声で盛り上がりま



した。

五月に入ると現場実習がスタートしました。今、自身がすべきことを考えながら準備を進め、随時実習に取り組んでいます。

3年間ではじめての一日専門授業の日が始まり、体力・集中力を持続して作業に取り組んでいます。また、人数の少ない日もあるため作業量が多くなる日もありますが、仲間同士で協力して取り組んでいます。

二年生近況

新学年がスタートし、むらの初めての体育祭、そして終わればすぐに職場実習の準備に入り、初めての二週間に渡っての職場実習がありました。



体育祭では、紅白に分かれて生徒同士で出場メンバーを決め

たり、学年行事では各団で戦略を練ったり、初めての行事を自分たちで楽しんでいる様子が伺えました。

六月一日からの職場実習では昨年より事前準備を積んで臨んだ生徒も多く、充実した顔で学校に帰ってきた生徒も見られました。初めての二週間の実習で、自分の課題がしっかりと出た生徒もいます。一週間は乗り越えられなくても、就労するための本当の力は二週間め以降に現れます。今回の反省を活かし、後期にある最後の職場実習に臨んで欲しいと思います。三年生はもうすぐそこです。

一年生近況

不安や緊張、そして期待感でいっぱいになりながらも、凛々しい表情で臨んだ入学式から、早三カ月が経ちました。入学当初のオリエンテーションに始まり、家庭訪問、体育祭、職場体験実習など、すでに多くの経験や学びを積み上げています。



優しく穏やかで、仲間を大切にできる十二期生。三年後の《就労を通じた社会自立に向けて》生徒・保護者・教員が一つのチームとなって、全力でチャレンジし、充実した学校生活を築いていきます。多くの中学生が参加する七月末のオープンスクールに《むらの生》として自信をもって臨めるようになることが、今現在の十二期生全員の大きな目標です！



第一回 体育祭



雲一つない晴天に恵まれ、記念すべき「むらの高等支援学校第一回体育祭」を無事開催することができました。競技を待つ生徒たちの表情には、日頃の学校生活では見られない緊張感が漂い、競技が始まると、自分の種目に全力で取り組む姿がとても印象的でした。また、紅白に係なく仲間を大きな声で応援する姿からは、全体の一体感が強く感じられました。今回の体育祭は、生徒にとってすべてが初めての経験でしたが、準備・片付け、当日の運営に至るまで、自分たちの力でしっかりとやり遂げることができました。生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

Syuku56プロジェクト

本校では、今年度も「枚方市観光案内所Syuku56」様のご協力をいただき、枚方モール一階の観光案内所に併設された店舗で、専門学科製品の委託販売に取り組んでいます。

委託販売は対面式の販売会のようにお客様とふれ合う機会はありません。しかし、生徒たちが学科の授業で製造したクッキーや木工・窯業の製品などが、地元の特産品と同じ空間に並べられ、一般のお客様の厳しい目で評価していただけることは、とても貴重な学習機会につながると考えています。

枚方市駅近くにお越しの際は、ぜひ一度お立ち寄りください。



リビングデザイン科3年生による商品の納品・陳列の様子

天の川カフェ

今年度も天の川カフェがオープンしています。三年生の働くことを意識した一日カフェは木曜日に営業を開始しました。三年生の授業ではカフェマスターを決めて、マスターを中心に営業するスタイルをとっています。マスターとしての仕事の難しさを感じながらも一人ひとりが自分の仕事に責任を持って頑張っている様子です。二年生も一年間の学習の成果を初営業の形で発揮しています。

店内では夏メニュー限定のゆずソーダやカルピスソーダが人気です。店内で飲食される際は、木工で製作したコースターと食品加工で作った焼き菓子と一緒に、是非一度足を運んでみてください。営業日時は、毎月ホームページに掲載していますのでご確認ください。のうえのうさぎ。こしください。



9期生（令和7年度卒業）の進路状況（共生推進教室含む）

種別	仕事内容	人数
就職	製造業	5名
	運輸業、郵便業	3名
	卸売業・小売業	3名
	不動産業、物品賃貸業	1名
	学術研究、専門・技術サービス業	2名
	宿泊業・飲食サービス業	1名
	医療・福祉	1名
	サービス業（他に分類されないもの）	1名
障がい者福祉事業所	就労継続支援（B型）	6名
	就労移行支援	2名
	自立訓練	2名
訓練校	訓練校	1名
その他	未定	5名
9期生卒業生		33名 本校：29名 共生：4名

昨年度の卒業生進路状況（五月一日現在）を報告します。卒業生三十三名（共生推進教室含む）のうち、企業就労十七名、障がい者福祉事業所十名、訓練校一名、未定五名でした。彼らは、四月から社会人として新たなステージに進んでいます。今後、それぞれのステージで自身の力を発揮することができるよう、障がい者就業・生活支援センターなど各関係機関と訪問をして様子を聞き、職場定着などに取り組んでいきます。

卒業生進路状況